

(特非) 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

新たな持続可能な環境保全型「自伐型林業」の推進基盤づくりと全国普及

活動地域  日本全域

フロントランナー助成

5年目

知識の提供・普及啓発

自伐型林業支援の自治体創出数 **51** 自治体

新規会員 **441** 人

今年度計画の達成度 **100** %

目標達成度 **100** %



年1,000人程が自伐を学ぶ(千葉県大多喜町)

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

毎年1.5~2倍程度の予算・事業規模に拡大するため、会計を含む事務局体制の確立は苦勞を伴った。

■ 工夫した点

事業を推進する部隊(攻め)とバックオフィスの部隊(守り)を常に意識した体制づくりを心がけた。お金まわりを第三者の会計事務所と連携し続けたことが大きかった。

課題

小規模分散型の「自伐型林業」を普及させ、林業就業者を新規に誕生させ、支援自治体を全国に広げ、大規模・環境破壊型の林業を止めて、中山間地を活性化させたい。

目標

支援自治体を50以上に広げ、数千人単位で新規林業者を誕生させ、指導者を育てる。企業連携を進め、縦割り行政を横に貫くよう国の制度に自伐型林業を位置づける。

活動内容と成果

全国をサポートする当会と並行し、個人を直接支援するグループ「地域推進組織」の育成に力を入れ、約30グループが誕生した。自治体との連携や山林所有者との交渉、林業者のフォローをする地域の役割を担う存在に育った。豪雨災害の原因調査や自伐型林業の耐災害性の調査研究を進めてフォーラム等で発表し、全国メディアのほか、オウンドメディア「ZIBATSUチャンネル」(YouTube)で報道する広報展開を作った。



作業道研修中のメンバー(宮崎県延岡市)



最新情報を伝える ZIBATSUニュース

全助成期間の活動を振り返って

国に切り捨てられた小規模林業の「自伐」が、この活動によって支援自治体が50以上にのぼり、小さな林業の復権運動のスタートダッシュを切れた。本格展開する市町村では、就業者が30人を超えるところが複数(高知県佐川町・仁淀川町、鳥取県智頭町、島根県津和野町等)あり、地域によっては100人以上の就業創出もみえている。災害を防ぐ環境保全を実現し、仕事を作る「地方創生」の姿を浮かび上がらせられる事業になった。

〒150-0046
東京都渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング1F
電話: 03-6869-6372
E-mail: info@jibatsukyo.com
HP: https://zibatsu.jp/



今後の展望

条件不利な中山間地域に暮らす新規林業者たちが研修を重ね、「自伐型林業」を軸にした生業がつけられることを全国で証明してきている。樹種や地域性に関係なく、地域特性に合わせた森林資源を活用しており、その数は5年間の事業で数千人規模にのぼっている。地域に住む個人やグループが活用し、縦割り・分野で分かれた森林・林業に横串を刺し、中山間地域の新たなライフスタイルを描いていけるよう当会がサポートしていきたい。